変わる公共交通

バス路線の再編モデル 編

全国的に、公共交通の衰退が懸念されています。本市では将来にわたって移動手段を確保するため、鉄道やバスを中心とした公共交通ネットワークの再編を進めています。

そこで今回は、「みんなの病院」を核としたまちづくりが進められている仏生山エリアにスポットをあて、バス路線再編のモデルケースを紹介します。

お問い合わせ
交通政策課（☎839・2138）

公共交通の空白地域

市内には鉄道やバスの公共交通が運行していますが、一方で公共交通の空白地域も存在します。その一つに三谷・多肥地域があります。以前、この地域にもバスは走っていましたが、利用者の減少などが影響し、廃線となりました。

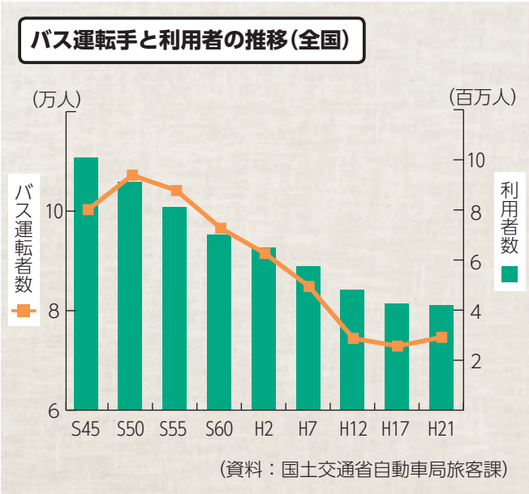
このような中、ことでん仏生山駅周辺では「新病院を核としたまちづくり」として、「みんなの病院」を中心に、地域交流センターや駅前公園の整備を進めています。

また、山田支所を総合センター等として整備する計画があり、交通結節拠点である仏生山駅と地域拠点の支所（総合センター）をつなぎ、公共交通の空白地域である三谷・多肥地域を経由する新たなバス路線を運行します。

▲みんなの病院北側エリアの整備の様子

新たなバス路線を運行するためには

新たなバス路線を運行するには、バスの運転手が必要です。しかし、近年の労働力人口の減少などにより、バスの運転者数も昭和50年の10万7225人をピークに大きく減少し、運転手不足が深刻化しています。



限られた運転手でバス路線を持続するには、既存のバス路線を需要に応じて再編したり、提供しているサービスを最適なものに見直す必要があると考えています。

仏生山駅を拠点とするバス路線の再編

今回、「みんなの病院」の整備に合わせ、仏生山駅西口駅前広場と病院の正面入口前にバスロータリーを整備するとともに、交通事業者との連携によって運転手の確保に取り組みました。その結果、仏生山駅に3つのバス路線（①仏生山川島線 ②塩江線 ③香川町シャトルバス）が乗り入れることになりました。

これからのバス路線の再編に向けて

ことでん琴平線では、2つの新駅整備を計画しており、新駅に向かってさまざまな方面からバス路線をつなぐことを予定しています。また、その他の地域においても公共交通のネットワーク化を進めます。

しかし、新規路線を作ったり、既存路線のサービスを向上するには運転手を確保する必要があります。

そのため、バス路線の再編に向けては、関連する複数の路線を一つのパッケージとし、スクラップ＆ビルドを行うなど、交通事業者と連携・協力しながら、将来にわたって公共交通が持続できるように進めていきます。

運行時間について

▶仏生山川島線（土・日曜日、祝日、年末年始は運休）
【山田支所発】午前7時25分～午後6時5分
【市立みんなの病院発】午前7時52分～午後6時36分

▶塩江線
【高松駅発】午前6時26分～午後9時（最終便は平日のみ）

▶香川町シャトルバス（日曜日・祝日・年末年始は運休）
【平日】午前6時35分～午後8時38分
【土曜日】午前7時25分～午後7時26分

★ルート、運行時間や料金などについて、詳しくはこちらから

▲市ホームページ　▲ことでんバスホームページ